



# 日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98.8.26 No. 4837

## 集会

ガサキから反戦のうねりを!



# 8.6行ってきまふ 8.9ヒロシマ。ナガサキも

# 反戦の誓いあらたに



執行委員  
後藤俊哉

被爆五三周年、八・六広島―  
八・九長崎反戦反核闘争に五泊  
六日で、労組交流センターの仲  
間と共に闘ってきました。

## 8・6ロシマ

八月六日早朝より小淵新首相  
が参加の祈念式典を糾弾し市内  
デモを行なったのち、四つの分  
科会に分散して参加、午後は一  
八・六広島反戦反核集会」に参  
加しました。

反戦被爆者の会・下田禮子さ  
んが『五三年前のこの日を怒り  
の日にしなければならぬ。新  
ガイドライン粉砕を掲げ闘いま  
す』と怒りのアピール。「ひま  
わりの会」の朗読劇『この子た  
ちの夏』に会場は静まり返って  
聞き入った。特別アピールにた  
った本島等前長崎市長は「被爆  
者四〇万人の内七万人の朝鮮人  
が被爆し四万人が死んだ。もし  
て一五三万人が強制連行された  
『命を返せ』と言います。戦争  
はだめです。皆さんと共に頑張  
りましょう」と訴え、政府の戦  
争政策を強く弾劾した。次に「  
新ガイドライン関連法を阻むた  
めに百万人署名の達成を」と中  
島誠さんが講演。核に反対する

物理学者の会・吉田義久さん、  
藤尾靖之反戦自衛官、百万人署  
名広島連絡会の北西充さん、司  
法反動とたたかう弁護士・本田  
兆司さんが「新たな戦争への  
道」新ガイドラインを粉砕しよ  
う」をテーマに発言した。さ  
らに「社共にかわる新たな潮流  
を」として栗原君子前参議院議  
員、結柴杉並区議、国賀泉佐野  
市議、永井満全関西実代表世話  
人、部落解放同盟全国連合会の  
代表が連帯のあいさつ。沖縄現  
地からは、二見以北十区の会女  
性部、ジャンヌ会の真喜志トミ  
さん、宜野湾市民の会・島田善  
次代表、太田弘広島沖縄県人会  
長らの熱い発言を受けた後、中  
村盛博事務局長と二人で三線の  
演奏と踊りを披露。労組交流セ  
ンター三角忠氏による基調報告  
の後、三里塚反対同盟北原敏治  
事務局長が「二〇〇〇年開港阻  
止」の力強い訴え、動労千葉か  
らは田中書記長が「国鉄闘争に  
勝利し、周辺事態法に有事立法  
を阻止するために労働者による  
労働者のための労働運動を」と  
激を発した。最後に全国被爆者  
青年同盟・友野幽さんの集会宣  
言、桜井善作さんの団結ガンバ  
ロウで集会を終えた。

## 8・7呉・岩国基地闘争で

翌八月七日は、バスで海上自  
衛隊呉基地へ。あの強襲揚陸艦  
「おおすみ」が不気味に浮かん  
でいるのが見えた。呉はまさに  
軍港そのもので潜水艦のマス  
がビルのように立ち並び、イ  
ジス艦がその性能を誇示するよ  
うにアンテナを並べていた。ま  
さに「新安保ガイドライン」が  
目の前に存在しているようだ。  
午後は岩国の自衛隊・米軍基  
地門前で自衛隊に抗議声明と要  
請書を手渡した。凄まじい轟音  
とともにタッチアンドゴーを繰  
り返すF-1八の四機編隊が訓練  
を行っていた。まさにここが  
朝鮮侵略戦争の出撃基地である  
ことを確信した。

## 8・9ナガサキ

八月九日は、長崎市内デモ後、  
長崎朝鮮人犠牲者の碑に追悼の  
献花を行なった後、『繰り返す  
なアアジア侵略―ヒロシマ・ナ  
ガサキを―』八・九長崎反戦反



核集會に参加。佐世保の海を守  
る会・松本栄二さんの主催者換  
拶の後「今、新しい戦前―長崎  
から反戦のうねりを」と題し  
新崎盛暉氏、本島等氏、鈴木達  
夫弁護士らによるパネルディス  
カッションが行なわれた。第二  
部では、国労闘争団が「東京高  
裁の五・二八判決は、国鉄労働  
運動、否、全ての労働者に対す  
るものです。労働運動の復権を  
かけて闘います」と力強く訴え  
た。また部落解放同盟全国連合  
会、破防法団体規制に反対する  
福岡県連絡会議の石崎昭哲さん、  
全国戦災障害者連絡会会長の杉  
山千佐子さんよりアピールが行  
なされた。基調報告の後、長崎  
被爆者青年同盟が「九八ナガサ  
キアピール」を発し「今の日本  
政府は行き詰まり、新ガイドラ  
インで侵略戦争に突き進もうと  
している。九・二三国会闘争へ  
―と熱く訴えた。

## 労働者が反戦闘争の先頭に

全ての日程を消化して、戦争  
の、原爆の悲惨さを改めて確認  
できた思いです。反戦・反核の  
声をもっともっと大きなものに  
していかなければならない。ヒ  
ロシマ・ナガサキ・オキナワを  
二度と繰り返してはならない。  
そして、日本の参戦国家化・核  
保有国化を絶対に許さない、そ  
れを実現できるのは、われわれ  
労働者です。全国の労働者を結  
集して、今こそ反戦・反核闘争  
の爆発をかちとろう。そして労  
働者が主役の世界をつくりあげ  
よう。